

読み聞かせ絵本 年配者向け



「もったいないばあさん」(4分)

真珠まりこ/作 講談社

2004年 バ-コード 000700906

もったいないばあさんが来るよ。お皿の上の食べ残し、お茶碗についたごはんつぶ。もったいなーいと言ってくるよ。「もったいない」ってどういう意味? ものを大切に作る心がそだつ絵本。 ※TRCtool-i 内容紹介より転載

作家の真珠まりこ氏は2回も佐土原図書館で公演をしてくださいました。



「おじさんのかさ」(8分)

佐野洋子/作 講談社

1992年 バ-コード 000127977

黒いりっぱなかさが自慢のおじさんは、雨の日でも決してかさをさしません。子どもたちの「あめがふったらポンポロロン。あめがふったらピッチャンチャン。」の声にあわせて、ついにかさを開いてしまいます。

やっとかさをさしたおじさんがかわいい。



「あかにんじゃ」(6分)

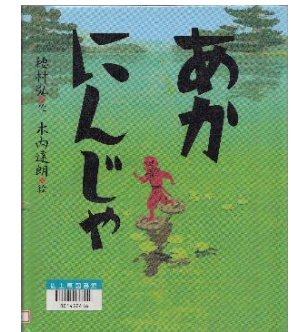
穂村弘/作 木内達朗/絵 岩崎書店

2012年 バ-コード 001452416

真っ赤な装束の「あかにんじゃ」。お城に忍び込むが、真っ赤な姿はすぐに見つかる。追い詰められると、ドロンドロンとさまざまな姿に変身し…。歌人・穂村弘のはじめての創作絵本。

※TRCtool-i 内容紹介より転載

赤くてめだつにんじゃ。おもいがけないものばかりに変身!



「おじいちゃんの木」(4分)

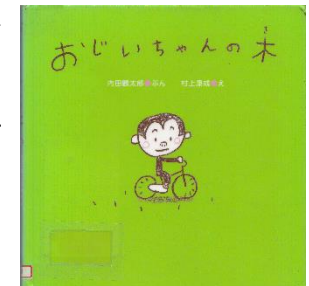
内田麟太郎/作 村上康成/絵 佼成出版社

2004年 バ-コード 000497214

こざるのモンちゃんは自転車をこぎます。おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんに会いに行くのです。森の動物達は「そんなのいるもんか」と笑いますが…。綿々とつながる命のリレーを、ほのぼのとしたタッチで描きます。

※TRCtool-i 内容紹介より転載

いのちのつながりの大切さを楽しく伝えてくれます。



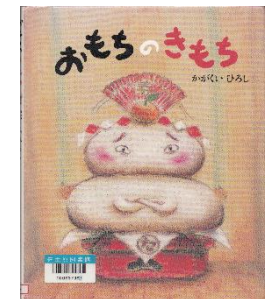
「おもちのきもち」(4分)

かがくいひろし/作 講談社

2005年 バ-コード 000887083

おもちだって、いろいろなやみがあるんです。きょうだいたちは、にんげんにたべられてしまうし…。そこでわたくし「かがみもち」は、お正月、とある決心をしました!びっくり、めでたい、驚愕の「おもちワールド」へ出発。 ※TRCtool-i 内容紹介より転載

作家かがくいひろしさんの作品の中でも絶品!!



「こだぬきのおねがい」(7分)

山崎陽子/文 篠崎三朗/絵 至光社
2002年 B-コード 000224550

鉄砲名人の善造が捕まえたのは、たぬきの親子。母だぬきの願いで子だぬきは逃がしてやりましたが、その夜、子だぬきがやって来て…。手をあわせる子だぬきの姿にほろりとする昔話。※TRCtool-i 内容紹介より転載

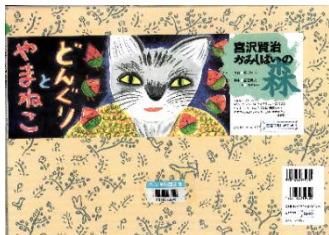


舞台用のお話を絵本にしているの、各キャラクターになりきって読むとよいと思います。

「どんぐりとやまねこ宮沢賢治かみしばいの森」(11分)

宮沢賢治/原作 堀尾青史/脚本 渡辺有一/画 童心社
1996年 B-コード 000354399

いちろうのところきた葉書は、やまねこからのものです。めんどろな裁判をするので、きて下さいというのです。山道をのぼると。※紙芝居ケースあらすじより転載



高齢者の中には賢治作品に親しんだ方も多いため、懐かしさを引き出せるようにゆっくり読むとよいと思います。

「しちどぎつね 上方落語・七度狐より」(18分)

たじまゆきひこ/作 くもん出版
2008年 B-コード 001074400

お伊勢参りの旅の途中、お腹がすいて畑からすいかを盗んだきろくとせいはち。でもまだうれてなくて食べられない。きろくがすいかを草むらへ捨てると、きつねの頭にごつとあたった。このきつね、ただのきつねではなく…。※TRCtool-i 内容紹介より転載



落語「七度狐」の絵本版です。落語家になりきって読みましょう。

読み聞かせ絵本



年配者向け

「ミドリちゃんおよつつけいと」(6分)

おおしまたえこ/作 ポプラ社
2002年 B-コード 000195909

おばあちゃんの毛糸玉はころころころがって、雪の庭にとびだしていきました。ミドリちゃんとおばあちゃんがおいかけていくと…!? 4色の毛糸から広がるイメージ豊かな絵本。

※TRCtool-i 内容紹介より転載



4つの毛糸がそれぞれの場面を彩ります。前のページで余韻を持たせて、毛糸は何になるのか想像するタイミングを設けるとよいと思います。

「キウイじいさん」(6分)

辺茂男/文 長新太/絵 クレヨンハウス
2005年 B-コード 000875625

キウイの好きなじいさんが、キウイの苗を一本買って庭に植えた。毎日水をあげても、花がひとつぼりと咲いて、ぼろりと落ちただけ。じいさんは腹を立て、キウイのまわりに「これでもくらえ」と毎日生ごみを埋めはじめたが…。

※TRCtool-i 内容紹介より転載



「キウイ」と「じいさん」というなかなか見ない組み合わせがおもしろいです。オチをおもいきり明るくよみましょう。

「てんぐのかくれみの」(10分)

常光徹/脚本 長野ヒデ子/絵 童心社
2012年 B-コード 001459809

てんぐをだまし、かくれみのの手に入れた彦一は、姿をけして、あちこちでいたずらを行います。ですが、ある日、かくれみのが燃やされてしまいました。隠れ蓑の灰をからだにふりかけ、彦一はいたずらをつづけるのですが…。※TRCtool-i 内容紹介より転載



定番の昔話ですが、絵がかわいらしく見やすいので、高齢者はもちろん子どもにもおすすめです。